Genie®
A TEREX COMPANY

操作説明書

GR-12
GR-15
GR-20

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

AUS
Australia

メンテナンス
情報付き

Fourth Edition
Second Printing
Part No. 133069JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ
はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 3
一般的な安全 5
作業員の安全 9
作業場の安全 10
説明 17
操作 18
点検 21
操作手順 36
輸送およびリフトの手順 41
メンテナンス 44
仕様 46

お問合せ先：

インターネット：http://www.genielift.com
電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 2000 Genie Industries

初版： 第 6 刷 2002 年 10 月

第 2 版：第 2 刷 2004 年 8 月

第 3 版：第 2 刷 2005 年 5 月

第 4 版：第 2 刷 2010 年 6 月

「Genie」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。
「Runabout」および「GR」は、Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

はじめに

所有者、ユーザー、およびオペレータ：

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。装置のユーザーまたはオペレータとして次の点を実施いただくことによって、安全に大きく貢献いただけると考えます。

1 従業員規則、作業現場の規則、および法規に**従う**。

2 本マニュアル等、装置に付属しているマニュアルの指示を**読み、理解して従う**。

3 作業場における**一般的な安全管理を行う**。

4 **訓練を受けたオペレータあるいは承認されたオペレータだけが、**事情に通じ知識が豊富な従業員の指示を受けながら機械を操作する。

本マニュアルで明らかでない点、または追加するべき点がある場合は、ご連絡ください。

インターネット：www.genielift.com

電子メール：techpub@genieind.com



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

Genie では、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色分け、および警告用語を使用しています。



安全警報シンボル - ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとの安全警告に従ってください。

⚠ 危 険
赤

危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ります。

⚠ 警 告
オレンジ

危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至る可能性があります。

⚠ 要注意
黄

危険があることを示します。この危険を回避しない場合は軽度または中程度のケガを負う可能性があります。

注 意
青

危険な状態に至る可能性があることを示します。この状態を回避しない場合は物的損害が生じる可能性があります。

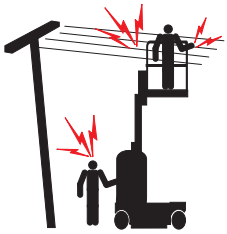
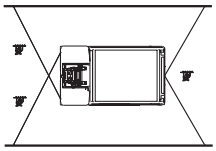
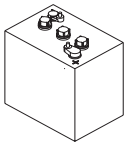
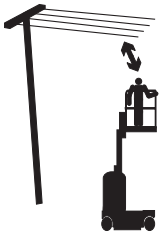
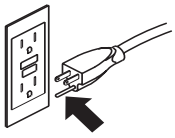
用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

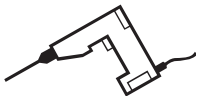
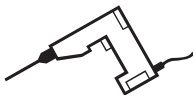
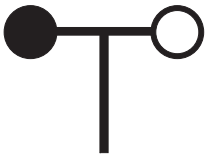
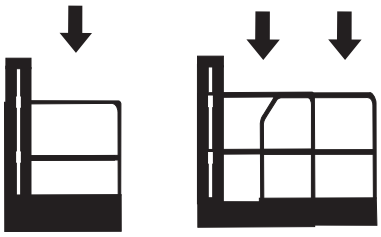
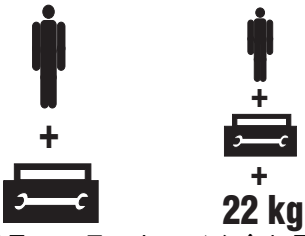
安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

シンボルと危険を表すイラストの定義

 操作説明書を読んでください	 サービスマニュアルを読んでください	 落下の危険	 禁煙	 衝突の危険
 衝突の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 紙を使用して漏れを調べてください	 感電の危険
 感電の危険	 爆発の危険	 火災の危険	 やけどの危険	 皮膚への噴射の危険
 輸送図	 固定用具	 可動部に近づかないでください	 平らな地面に機械を移動してください	 カウンターウェイトとして使用するバッテリー
 必要な間隔を維持してください	 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	 輪止めをかましてください	 ブレーキを解放してください	 接地されているAC 3 ピンのみ

シンボルと危険を表すイラストの定義

 損傷した電線およびコードを交換してください	 車輪荷重	 側方圧	 安全帯の取り付け場所	 作業台への電力の定格電圧
 作業台への空気配管の圧力定格	 風速			
 作業員を含む最大積載荷重量		 作業員、工具、トレイを含む最大積載荷重量		

一般的な安全

安全標識とその場所
説明付きイラスト

133014

⚠ DANGER

Failure to read, understand and obey the operator's manual and the following safety rules will result in death or serious injury.

Improper Use Hazard

The operator is responsible for safe machine operation. This includes:
1 Avoid hazardous situations.
2 Always perform a pre-operation inspection.
3 Always perform function tests prior to use.
4 Inspect the work place.
5 Only use the machine as it was intended.
Do not operate unless:
You read, understand and obey:
- manufacturer's instructions and safety rules—safety and operator's manuals and decals
- employer's safety rules
- applicable governmental regulations

You are properly trained to safely operate this machine.

Electrocution Hazards

This machine is not electrically insulated and will not provide protection from contact with or proximity to electrical current.

Maintain safe distances from electrical power lines and apparatus in accordance with applicable governmental regulations and the following chart.

Maintain required clearance.

Line voltage	Required clearance
300V to 50KV	10 ft 3.05 m
50KV to 200KV	15 ft 4.60 m
200KV to 350KV	20 ft 6.10 m
350KV to 500KV	25 ft 7.62 m
500KV to 750KV	35 ft 10.67 m
750KV to 1000KV	45 ft 13.72 m

Explosion Hazards

Do not operate machine or charge battery in hazardous locations or locations where potentially flammable or explosive gases or particles may be present.

Tip-over Hazards

Do not exceed rated load capacity.

Maximum occupancy: 1 person.

Do not raise platform when wind speeds may exceed 28 mph / 12.5 m/s.

Do not operate machine in strong or gusty winds. Do not increase surface area of platform or load. Increasing area exposed to wind will decrease machine stability.

Do not drive machine on or near uneven terrain, unstable surfaces or other hazardous conditions with the platform raised.

Use extreme care and slow speeds while driving the machine in stowed position across uneven terrain, debris, unstable or slippery surfaces and near holes and drop-offs.

Do not place or attach overhanging loads to any part of this machine.

Do not push off or pull toward any object outside of the platform.

Do not alter or disable machine components that in any way affect safety and stability.

Do not place ladders or scaffolds in platform or against any part of this machine.

Do not drive machine on a slope that exceeds the maximum slope or slide slope rating of the machine.

Do not use machine on a moving or mobile surface or vehicle.

Be sure all tires are in good condition, castle nuts are properly tightened and cotter pins are properly installed.

Do not depend on tilt alarm as a level indicator. Tilt alarm sounds only when the machine is on a slope.

If tilt alarm sounds, lower the platform. Move machine to a firm, level surface. Use extreme caution to lower platform.

Do not alter or disable limit switches.

Crushing Hazards

Use common sense and planning when operating machine with controller from ground. Maintain safe distances between operator, machine and fixed objects.

Fall Hazards

The guard rail system provides fall protection. If occupants of the platform are required to wear personal fall protection equipment (PFPE) due to job site or employer rules, PFPE equipment and its use shall be in accordance with the PFPE manufacturer's instructions and applicable governmental requirements.

Do not sit, stand or climb on the platform guard rails. Maintain a firm footing on the platform floor at all times.

Do not climb down from the platform when raised.

Lower platform mid-rail bar or close platform gate before operating.

Keep platform floor clear of debris.

Collision Hazards

Be aware of limited sight distance and blind spots when driving or operating.

Check work area for overhead obstructions or other possible hazards.

Be aware of crushing hazard when grasping platform guard rail.

Do not lower platform unless area below is clear of personnel and obstructions.

Be aware of extended platform position when moving machine.

No stunt driving or horseplay while operating a machine.

Damaged Machine Hazards

Do not use a damaged or malfunctioning machine.

Be sure all maintenance has been performed as specified in the appropriate operator's and service manuals.

Be sure all decals are in place and legible.

Be sure operator's, safety and responsibilities manuals are complete, legible and in the storage container located on the platform.

133014 A

44736

⚠ DANGER

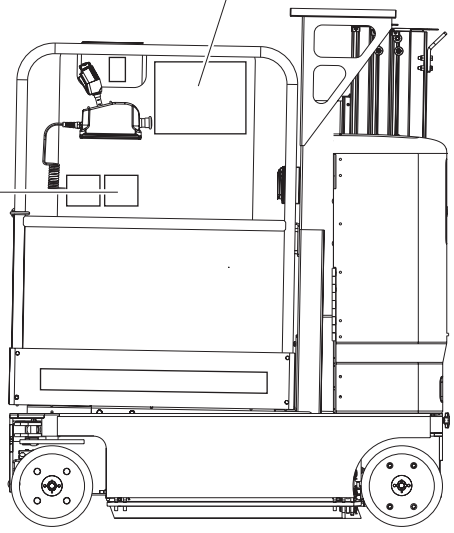
Tip-over Hazard

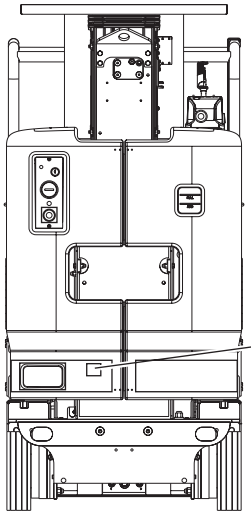
If tilt-alarm sounds, unit is on a severe slope. Death or serious injury could occur.

1 Lower the platform.

2 Move the machine to level surface.

44736 C





31508

⚠ DANGER

Electrocution / Fire Hazard

Death or serious injury will result from use of improper or damaged cord and outlet.

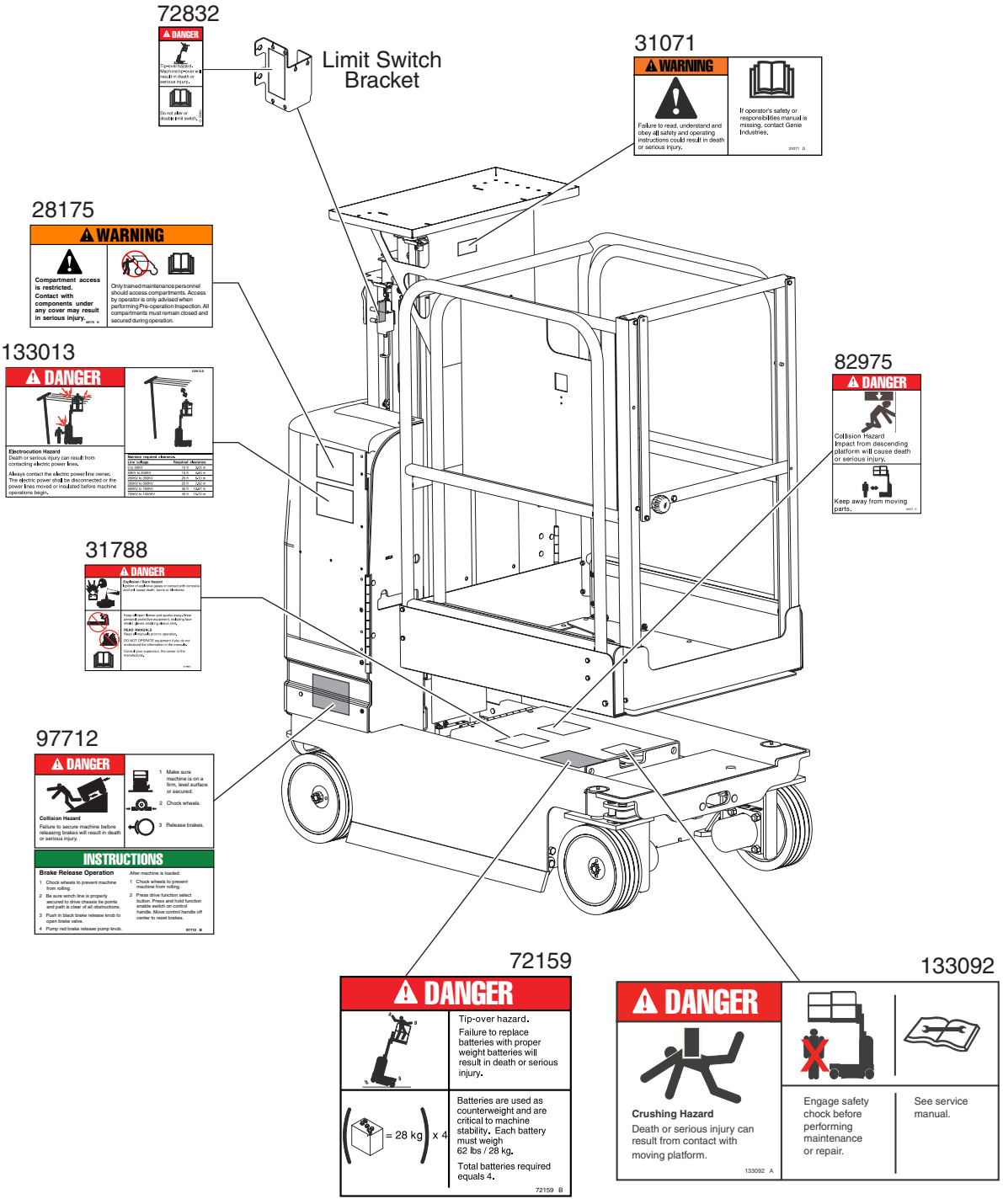
Connect charger to a grounded AC 3-wire electrical outlet only.

Before each use, inspect for damaged cord, cables and wires. Replace damaged items before operating.

31508 C

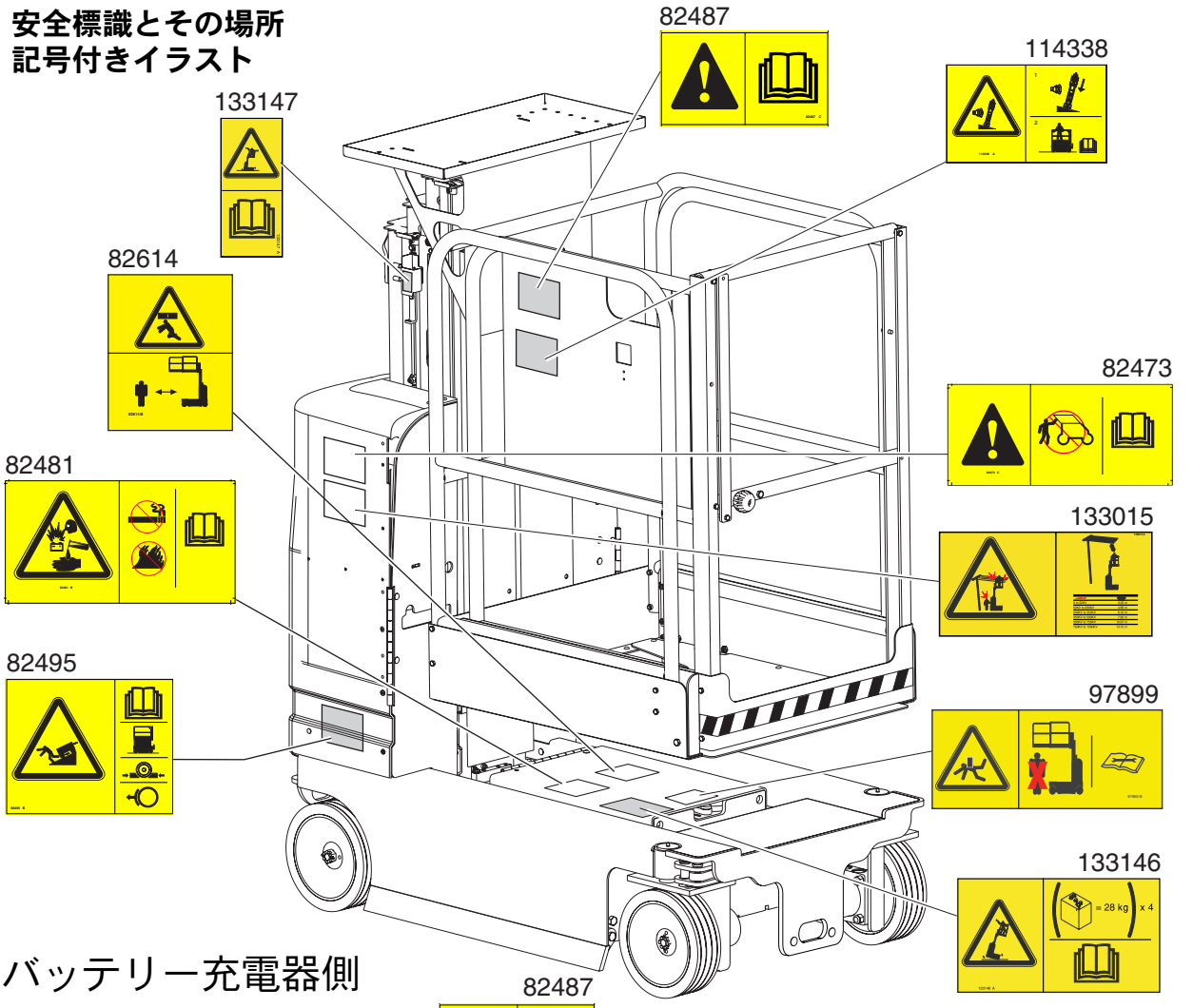
一般的な安全

安全標識とその場所
説明付きイラスト

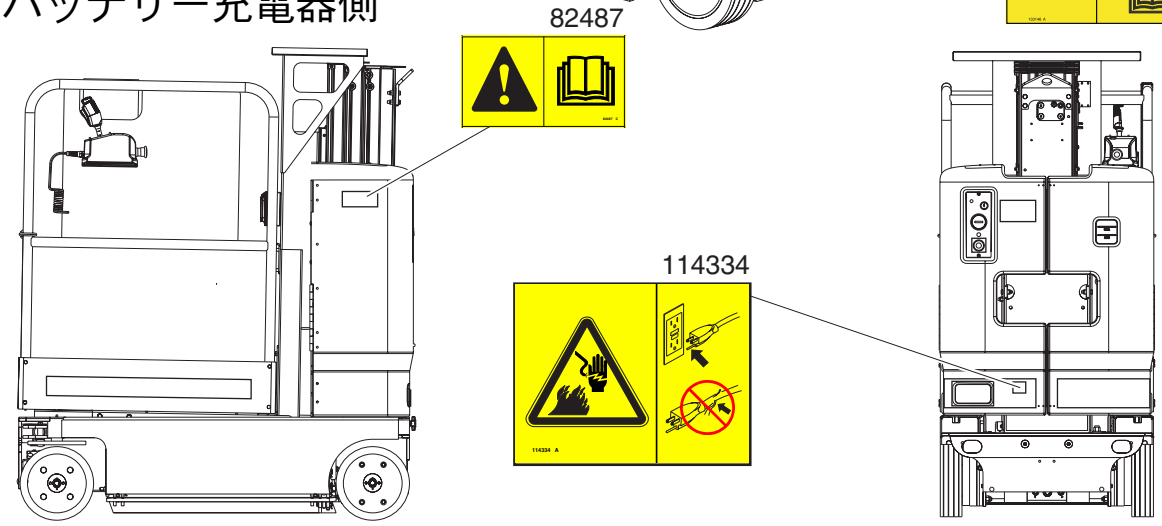


一般的な安全

安全標識とその場所記号付きイラスト

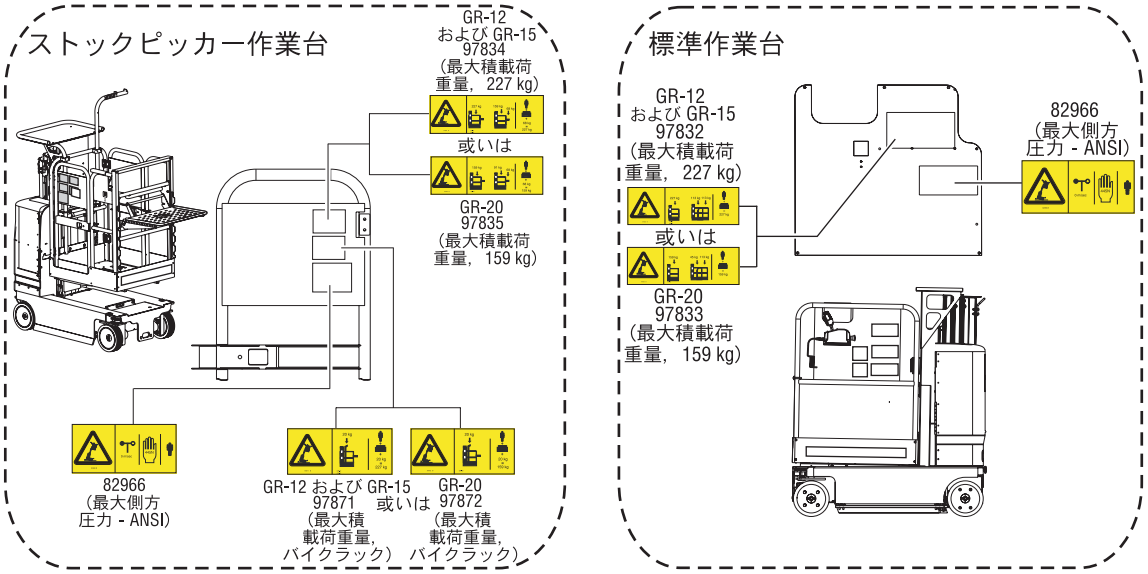


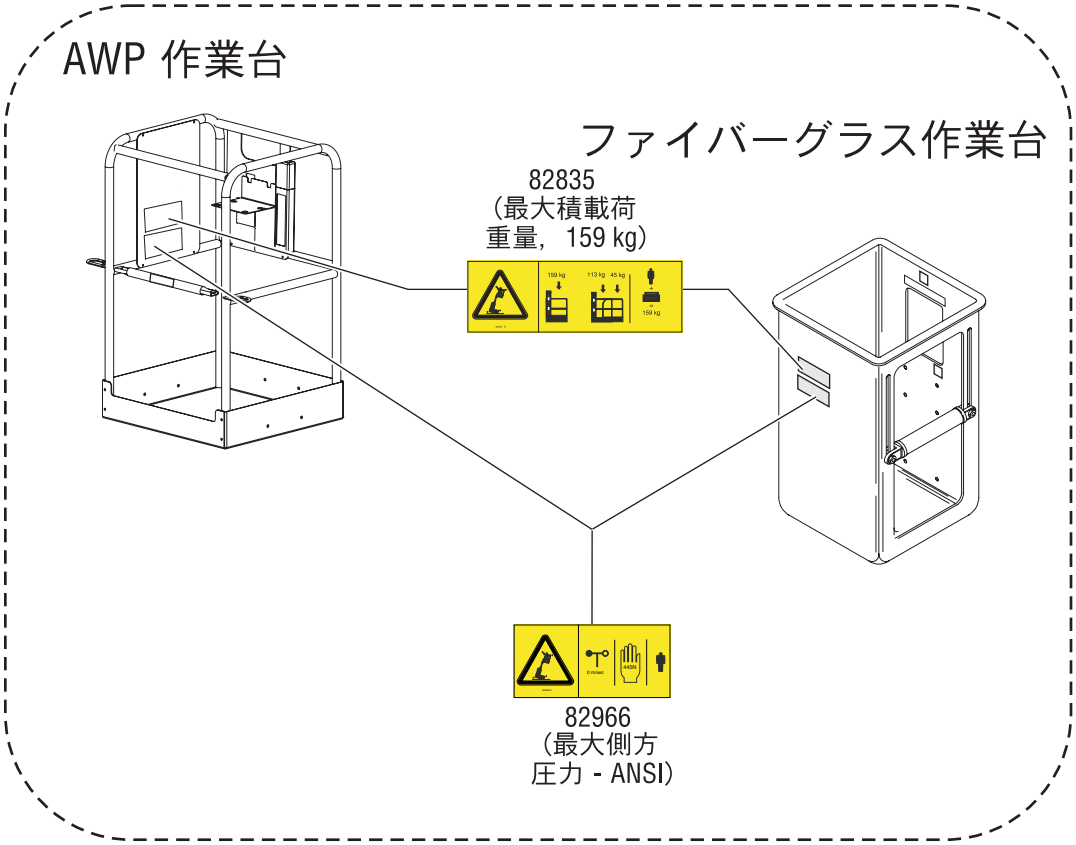
バッテリー充電器側



一般的な安全

安全標識とその場所
記号付きイラスト





作業員の安全

落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置（PFPE）の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

すべての PFPE は適用される法規に準拠したものでなければならず、取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険



この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

線間電圧	必要な距離
0～50KV	3.05 m
50KV～200KV	4.60 m
200KV～350KV	6.10 m
350KV～500KV	7.62 m
500KV～750KV	10.67 m
750KV～1000KV	13.72 m

作業台の動きおよび電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

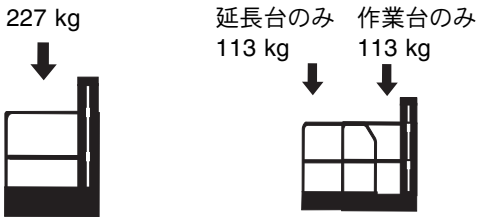
雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長の最大積載荷重量を超えてはなりません。トレイや各バイクラックの積載重量は、作業台積載荷重量に含まれます。

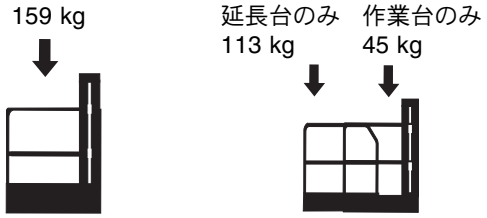
最大積載荷重量 - GR-12 および GR-15	
標準作業台	
作業台（延長台なし）	227 kg
作業台収納	227 kg
作業台延長 - 作業台のみ 作業台延長 - 延長台のみ	113 kg 113 kg
作業ステーショントレイ（オプション）	22 kg
荷物トレイ（オプション）	68 kg
最大作業員数	1



ストックピッカー作業台	
作業台積載荷重量	227 kg
調節可能作業ステーショントレイ	68 kg
荷物トレイ（オプション）	68 kg
バイクラック（オプション）（1台あたり）	20 kg
最大作業員数	1
AWP およびファイバーグラス製の作業台	159 kg
最大作業員数	1

作業場の安全

最大積載荷重量 - GR-20	
標準作業台	
作業台（延長台なし）	159 kg
収納された作業台	159 kg
作業台延長 - 作業台のみ 作業台延長 - 延長台のみ	45 kg 113 kg
最大作業員数	1



ストックピッカー作業台	
作業台積載荷重量	159 kg
調節可能作業ステーショントレイ	68 kg
バイクラック（オプション）(1台あたり)	20 kg
最大作業員数	1
AWP およびファイバーグラス製の作業台	159 kg
最大作業員数	1



機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇しないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみバッテリー充電器内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：
作業台を下げてください。機械を安定した平坦な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらって作業台を下げてください。

作業台を上げたままの状態で時速 0.8 km 以上で走行しないでください。

風速が秒速12.5 m を超える場合はマストを上げないでください。秒速12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

作業場の安全



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。

収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。



水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台で機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かかったり、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使って解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

モデル	最大収容側方圧	最大作業員数
ANSI/CSA	445 N	1
AUS	200 N	1

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーは使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 28 kg です。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積荷の表面積を増大させます。

作業場の安全



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



作業台にはしごや足場を設置しないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。



工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、コッターピンが適切に設置されていることを確認してください。

⚠ 手のケガの危険

手や腕をマストに近づけないでください。

作業台やマストの下での作業は、必ずバッテリーカバーを上げた状態で行ってください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大定格勾配、 収納状態	30% (17°)
最大定格横勾配、収納状態	30% (17°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。作業台の作業員が作業場規則や従業員規則に基づいて落下防止装備(PFPE)を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使い方について、PFPE 製品のメーカーの指示や適合する法規に従ってください。備え付けられている承認された安全帯取り付け場所を使用してください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に作業台中間レールバーを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

作業場の安全



作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

機械が作業台収納位置にない場合は、作業台に入ったり作業台から出たりしないでください。

操作前に、作業台中間レールバーを下げるか、もしくは作業台出入口ゲートを閉めてください。

⚠ 衝突の危険



走行または操作中は、視界が遮られる場所や死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用について、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。



作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

頭上に作動中の機械がある場合、あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

作業場の安全

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、これらのコンパートメントについて作業前の点検だけを行ってください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

バッテリーの充電には、24V 以上の充電器を使用しないでください。

溶接するときに機械をアースとして使用しないでください。

作業場の安全

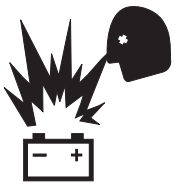
⚠ バッテリーの安全管理

熱傷の危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。



充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリー トレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。



バッテリー端末またはケーブル留め金に金属製の工具を触れると火花を発することがあります。工具を使用する時は、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V より高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電/やけどに注意してください。指輪、時計などの貴金属をすべて外してください。

転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーは使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 28 kg です。

持ち上げ時の危険

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

使用後のロックアウト

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

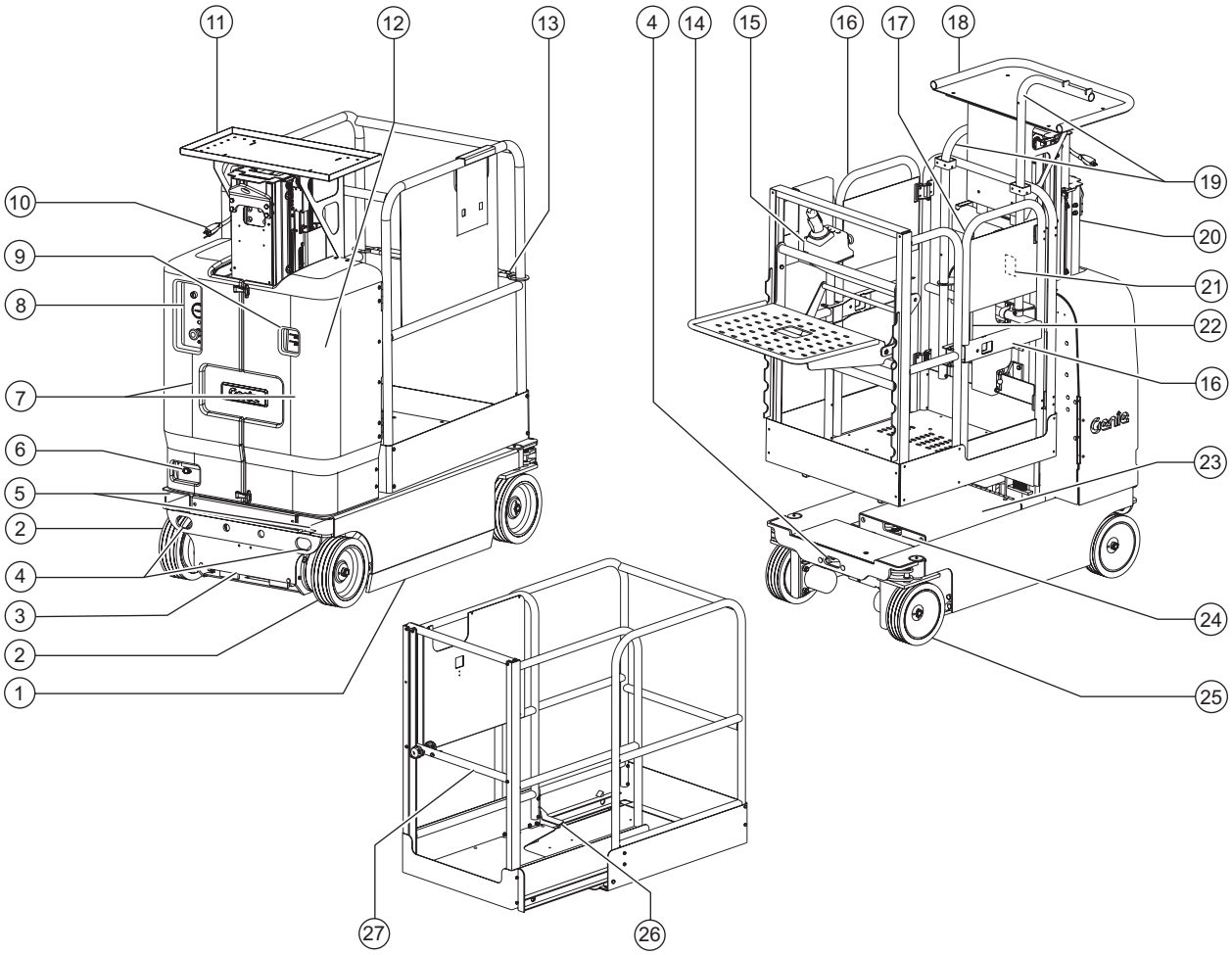
2 作業台を下げます。

3 キースイッチを オフ の位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。

4 輪止めをかまします。

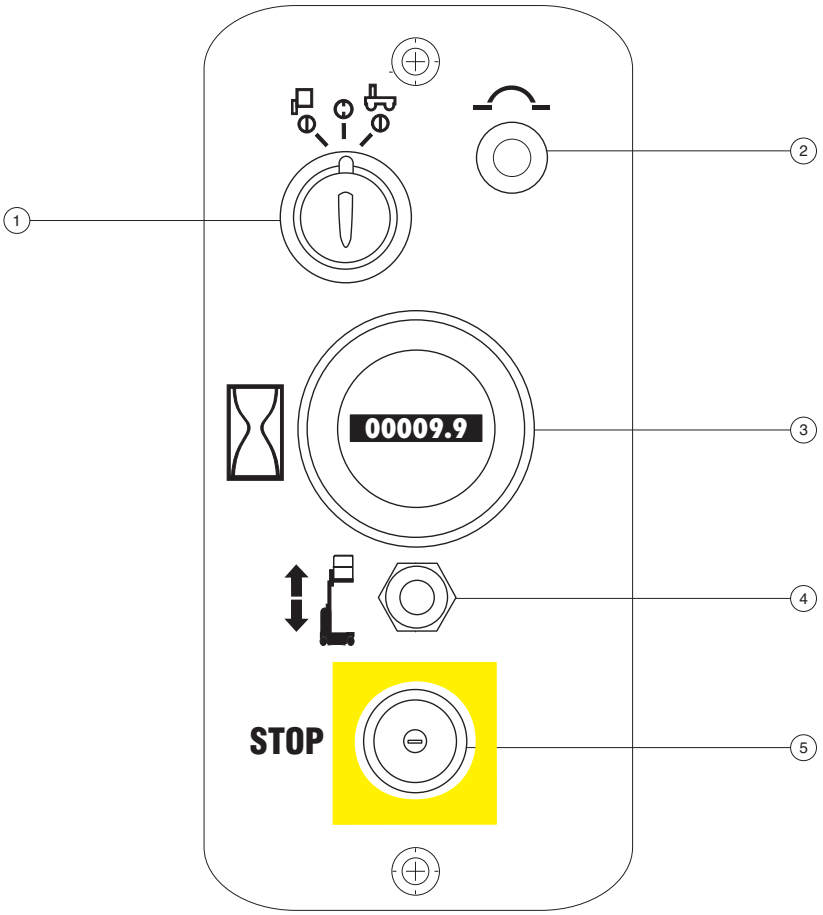
5 バッテリーを充電します。

説明



1 ポットホール ガード
2 非操舵側タイヤ
3 緊急下降バルブ
4 輸送用の荷締め
5 フォークリフト ポケット
6 充電器表示
7 カバー
8 地上操作
9 作動油量表示器
10 作業台/オプション変換機の充電器接続への電力
11 作業ステーショントレイ（搭載する場合）
12 ブレーキ解除ポンプノブ (カバー下)
13 出入口中間レールバー
14 調節可能作業ステーショントレイ
15 作業台操作
16 出入口ゲート (2ヵ所)
17 安全帯固定場所
18 荷物トレイ（搭載する場合）
19 バイクラック (搭載する場合)
20 マスト
21 GFCI コンセント
22 マニュアル保管場所
23 バッテリー コンパートメント カバー
24 バッテリーカバーラッチ
25 操舵輪
26 作業台延長解除ペダル
27 作業台延長出入口ゲート

操作



地上操作パネル

1 作業台/オフ/地上操作 選択用キースイッチ

キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作が作動します。キースイッチを オフ の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを回してベースの場所を選択すると、地上操作が動作します。

2 電気回路用 7A ブレーカー

3 時間計

機械が使用された時間数を示します。

4 作業台上下トグル スイッチ

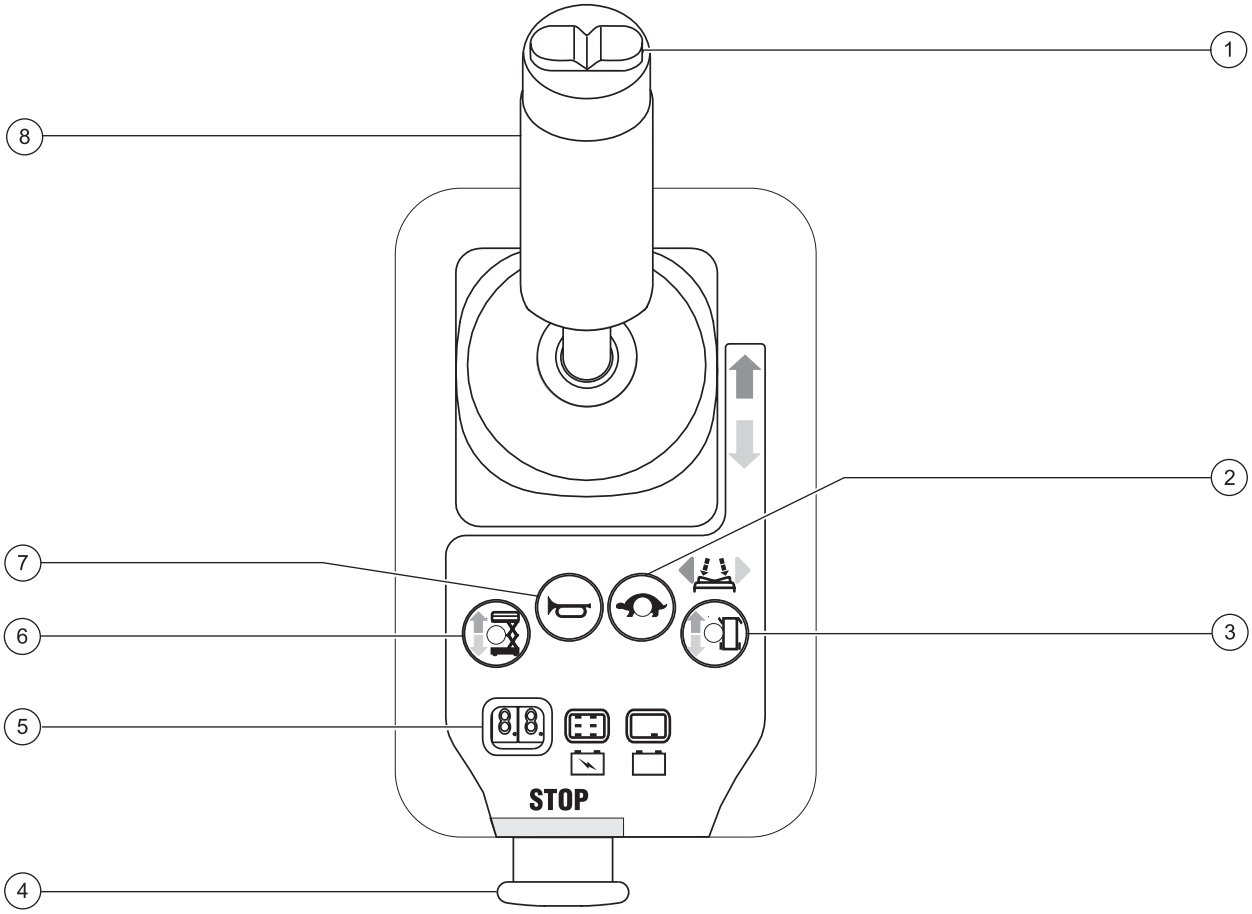


スイッチを上げると、作業台が上がります。スイッチを下げると、作業台が下がります。

5 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して オフ の位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて オン の位置にして、機械を操作します。

操作



作業台操作パネル

1 ステアリング機能用ロッカー スイッチ
2 走行速度ボタン
3 走行機能選択ボタン
4 赤色非常停止ボタン
5 LED 診断計測値/バッテリー充電表示器
6 リフト機能選択ボタン
7 ホーンボタン
8 リフト・走行機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

操作

作業台操作パネル

1 ステアリング機能用ロッカー スイッチ

ロッカー スイッチをいずれかの方向に押して、ステアリング機能を作動させます。

2 走行速度ボタン

このボタンを押して、低速走行機能を作動させます。低速が選択されているとき、表示ランプがオンになります。

3 走行機能選択ボタン



このボタンを押して，走行機能を作動させます。

4 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して オフ の位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて オン の位置にして、機械を操作します。

5 LED

診断計測値およびバッテリー充電表示器

6 リフト機能選択ボタン



このボタンを押して、リフト機能を作動させます。

7 ホーンボタン

ホーンボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ホーンボタンを離すと、ホーンが止まります。

8 リフト・走行機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

リフト機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台コントロール ハンドルのリフト機能が作動します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かすと、作業台が上がります。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、作業台が下がります。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

走行機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台コントロール ハンドルの走行機能が作動します。コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方法へ機械が動きます。コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に動かすと、黄色の矢印が指す方法へ機械が動きます。

点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可の改造を発見したら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認します。
- ❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、不正に変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックします。

- ❏ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❏ 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❏ バッテリーパックと電源の接続
- ❏ 走行モーター
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ アース用ストラップ
- ❏ リミットスイッチ、アラームとホーン
- ❏ アラームとビーコン（搭載されている場合）
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ 作業台出入口中間レールバー、チェーン、またはゲート
- ❏ シークエンス ケーブルと滑車
- ❏ ポットホール ガード
- ❏ 作業台延長（搭載する場合）
- ❏ 作業トレイおよびバイクラック（搭載する場合）
- ❏ ブレーキ解除部品
- ❏ バッテリーカバー
- ❏ マスト柱とカウンターウェイト
- ❏ 作業台操作ジョイスティック

機械全体を通して下記をチェックします：

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみや損傷
- ❏ 過度のさび、腐食または酸化

- ❏ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。

注記：機械を検査するために作業台を上げなければならない場合は、バッテリーカバーが所定の位置にあることを確認します。「操作手順」のセクションを参照してください。

点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

点検

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

2 バッテリーが接続されていることを確認します。

地上操作

3 作業台操作と地上操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて オン にします。

4 キー スイッチを回して地上操作に切り替えます。

5 作業台操作にある診断 LED の計測値を確認します。

⊙ 結果：LED は右の図のように表示されているはずです。



非常停止のテスト

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して オフ にします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

7 赤色非常停止ボタンを引いてオン にします。

上昇/下降機能のテスト

この機械の警告音と標準ホーンはすべて同じ中央アラームから発せられます。ホーンは継続音です。下降アラームは毎分 60 回のビープ音を鳴らします。ポットホール ガードが位置についていないことを警告するアラームは、毎分 300 回のビープ音を発します。機械が水平でないことを警告するアラームは、毎分 600 回のビープ音を発します。オプションで自動車のクラクションと同様のホーンを搭載することもできます。

8 上昇機能を作動します。

⊙ 結果：作業台が上昇します。

9 下降機能を作動します。

⊙ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

緊急下降のテスト

10 上昇機能を作動し、作業台を約 60 cm 上昇させます。

11 機械下部のマスト下にある緊急下降ノブを引きます。

⊙ 結果：作業台が下降します。下降アラームは鳴りません。

12 キー スイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作

非常停止のテスト

13 作業台の赤色非常停止ボタンを押して オフ にします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

警報のテスト

14 赤色非常停止ボタンを引いてオン にします。

15 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

機能作動スイッチのテスト

16 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしないでください。

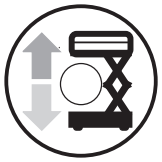
17 コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

点検

上昇/下降機能のテスト

18 リフト機能選択ボタンを押します。



19 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

20 コントロールハンドルを青い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が上昇します。ポットホール ガードが位置につきます。

21 コントロール ハンドルを放します。

⊙ 結果：作業台の上昇が止まります。

22 機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

ステアリングのテスト

注記：ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

23 走行機能選択スイッチを押します。



24 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

25 コントロール ハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが操作パネル上の青い三角が示す方向に回ります。

26 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが操作パネル上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

27 機能作動スイッチを押したままにします。

28 コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、急停止します。

29 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

点検

傾斜センサーのテスト

注記：このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

30 リフト機能選択ボタンを押します。

31 作業台を完全に下げます。

32 5x10 cm か同等の大きさの木片を、機械片側の2つのタイヤの前に置きます。

33 走行機能選択ボタンを押します。

34 機械が両方の木片の上に乗るように動かします。

35 リフト機能選択ボタンを押します。

36 作業台を上昇させます。

- 結果：作業台が地上約 30 cm まで上がったら、リフト機能が停止し、アラームが鳴り、LED の計測値に LL と表示されます。

37 走行機能選択ボタンを押します。

38 機能作動スイッチを押したままの状態で、コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

- 結果：走行機能はどちらの方向にも作動しません。

39 作業台を下げ、機械が木片から離れるよう走行します。

走行制限速度のテスト

40 リフト機能選択ボタンを押します。

41 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。作業台を地上約 60 cm まで上げます。

42 走行機能選択ボタンを押します。

43 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

- 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は秒速 20 cm を越えてはいけません。

作業台を上げた状態での走行速度が秒速 20 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

ポットホール ガードのテスト

注記：作業台が上昇するとポットホール ガードが自動的に位置につきます。ポットホール ガードが別のリミット スイッチを作動させ、機械は引き続き機能します。ポットホール ガードが位置につかないときは、アラームが鳴り機械は走行しません。

44 作業台を上昇させます。

- 結果：作業台が地上約 1.2 m まで上がったら、ポットホール・ガードが位置につきます。

45 片側のポットホール ガードを押し、その後もう一方を押します。

- 結果：ポットホール ガードは動きません。

46 作業台を下げます。

- 結果：ポットホール ガードが閉じた状態になります。

47 5x10 cm か同等の大きさの木片をポットホール ガードの下に置きます。作業台を上昇させます。

- 結果：作業台が地上 2.1 m まで上がる前にアラームが鳴り、走行機能は動作しません。

48 作業台を下げ、木片を取り除きます。

点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人の存在
- その他、起こりうる危険な状態

点検

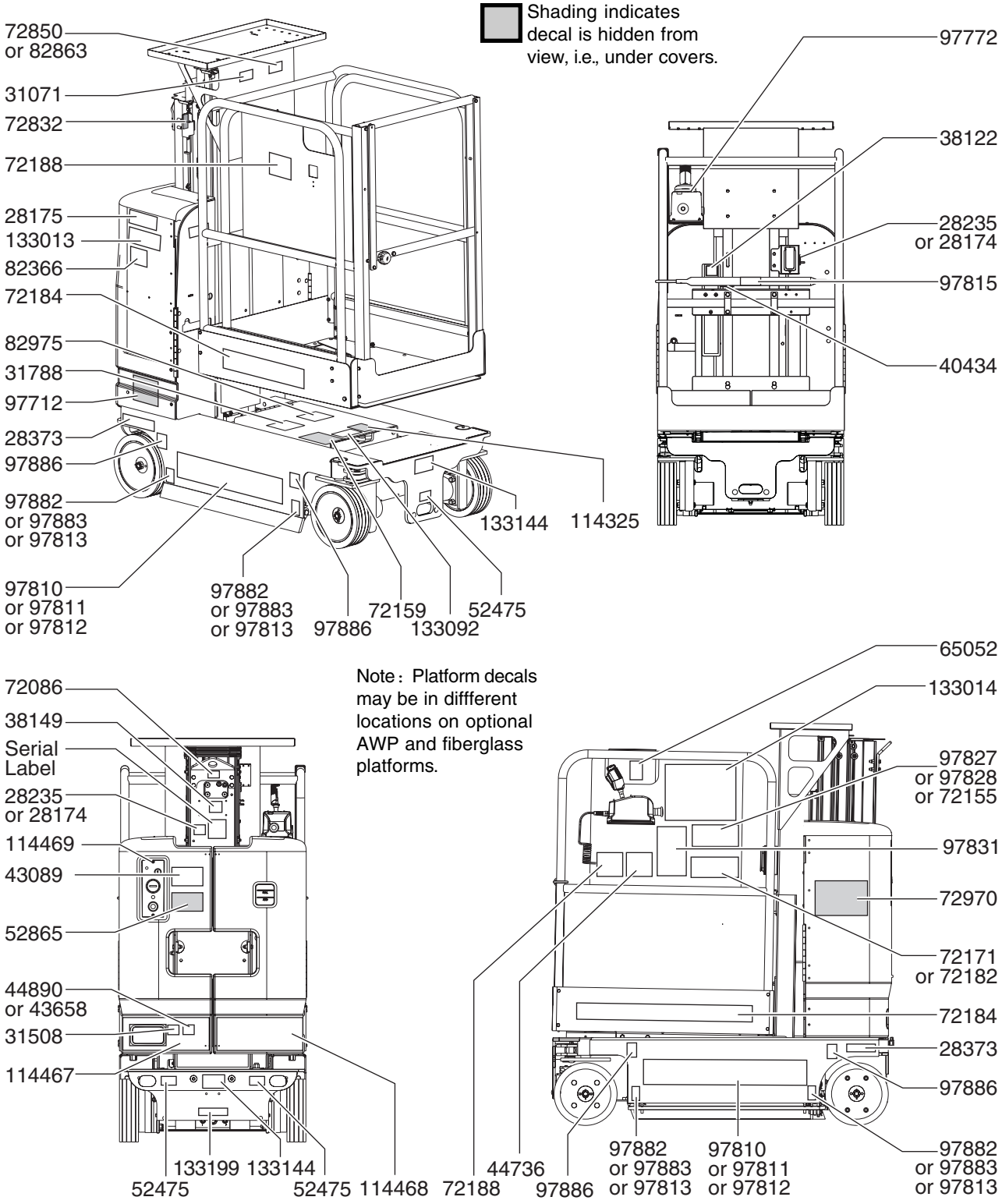
標準および AWP 作業台の警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Warning - Compartment Access	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28373	Label - Forklift Pocket	2
31071	Warning - Failure to Read Manual	1
31508	Danger - Electrocution Hazard, Plugs	1
31788	Danger - Battery/Charger Safety	1
38122	Label - Manual Storage Container	1
38149	Label - Patents	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	1
43089	Instructions - Operation Instructions, Control	1
43658	Label - Power to Charger, 230V	1
44736	Danger - Tip-over Hazard, Tilt Alarm	1
44980	Label - Power to Charger, 115V	1
52475	Label - Transport Tie-down	3
52865	Warning - Annual Service Inspection	1
65052	Label - ECM Fault Codes	1
72086	Label - Lifting Eye	1
72155	Instructions - Max Capacity, 159 kg (models with AWP and fiberglass platform)	1
72159	Danger - Tip-over Hazard, Batteries	1
72171	Instructions - Max Side Force, 445 N, ANSI & CSA	1
72182	Instructions - Max Side Force, 200 N, AUS	1
72184	Cosmetic - Genie Runabout	2
72188	Label - Directional Arrows	2
72832	Danger - Do Not Alter Limit Switch	1
72850	Instructions - Work Tray Capacity 22 kg, GR-12, GR-15	1
72970	Instructions - Battery Charger Operations	1

Part No.	Description	Quantity
82366	Label - Chevron Rando	1
82863	Instructions - Parcel Tray Capacity, 68 kg, GR-12, GR-15	1
82975	Danger - Collision Hazard	1
97712	Instructions - Brake Release Safety and Operation	1
97772	Platform Control Panel	1
97810	Cosmetic - Genie GR-12	2
97811	Cosmetic - Genie GR-15	2
97812	Cosmetic - Genie GR-20	2
97813	Label - Wheel Load, GR-20	4
97815	Label - Lower Mid-rail	1
97827	Instructions - Max Capacity, 227 kg, GR-12, GR-15 (models with standard platform)	1
97828	Instructions - Max Capacity, 159 kg, GR-20 (models with standard platform)	1
97831	Instructions - Operating Instructions, Platform	1
97882	Label - Wheel Load, GR-12	4
97883	Label - Wheel Load, GR-15	4
97886	Label - Tire Specifications	4
114325	Instructions - Battery Connection Diagram	1
114467	Cosmetic - Grey Stripe, Left Side	1
114468	Cosmetic - Grey Stripe, Right Side	1
114469	Ground Control Panel	1
133013	Danger - Electrocution Hazard	1
133014	Danger - General Safety Rules	1
133092	Danger - Crushing Hazard, Use Safety Chock	1
133144	Label - Transport Diagram	2
133199	Label - Emergency Lowering	1

点検


Shading indicates decal is hidden from view, i.e., under covers.
72850 or 82863
31071
72832
72188
28175
133013
82366
72184
82975
31788
97712
28373
97886
97882 or 97883 or 97813
97810 or 97811 or 97812
97882 or 97883 or 97813
97886
72159
133092
52475
133144
114325
97772
38122
28235 or 28174
97815
40434
Note: Platform decals may be in diffferent locations on optional AWP and fiberglass platforms.
72086
38149
Serial Label
28235 or 28174
114469
43089
52865
44890 or 43658
31508
114467
133199
133144
52475
52475
114468
65052
133014
97827 or 97828 or 72155
97831
72970
72171 or 72182
72184
28373
97886
97882 or 97883 or 97813
44736
72188
97886
97810 or 97811 or 97812
97882 or 97883 or 97813

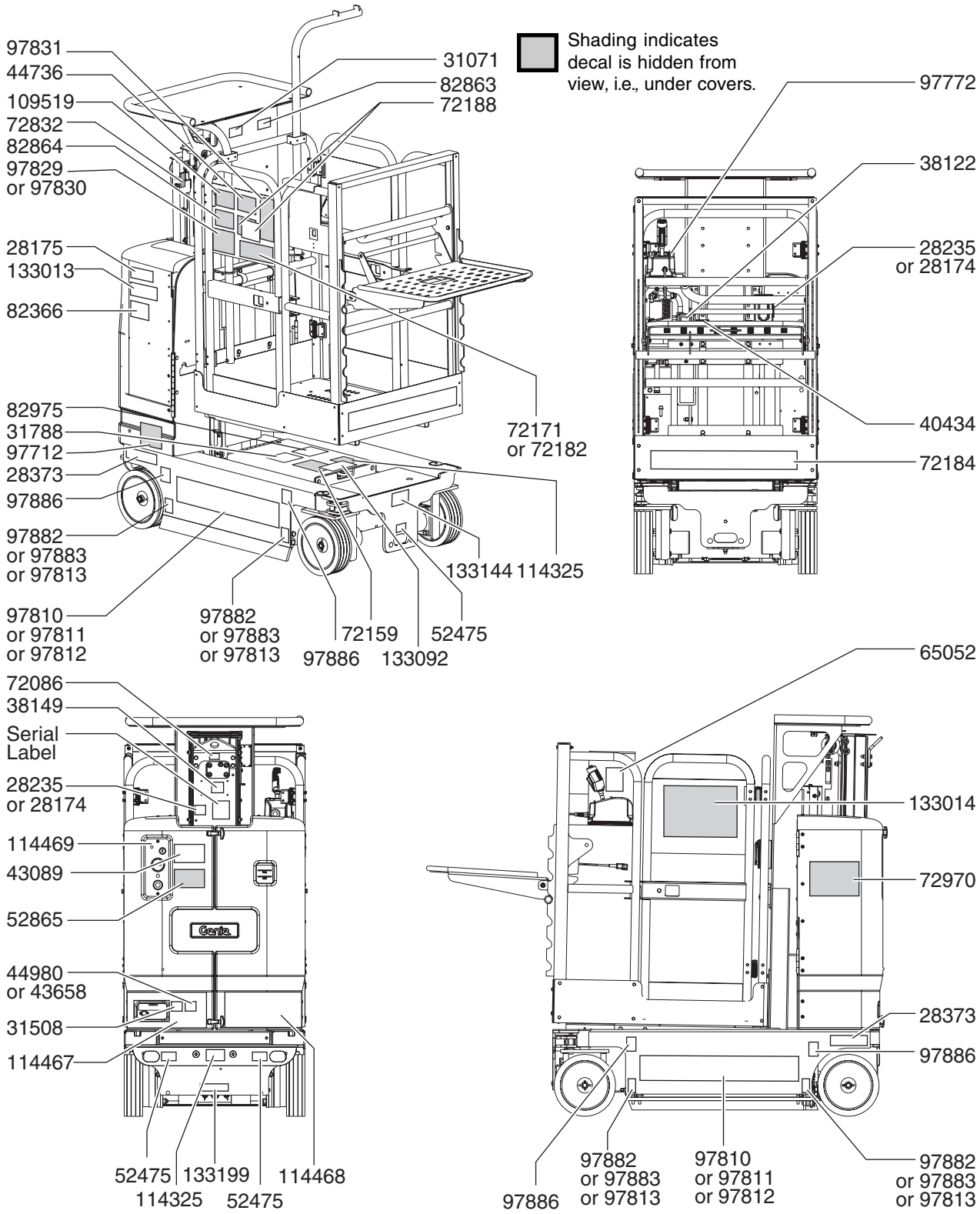
点検

ストックピッカー作業台の警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Warning - Compartment Access	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28373	Label - Forklift Pocket	2
31071	Warning - Failure to Read Manual	1
31508	Danger - Electrocution Hazard, Plugs	1
31788	Danger - Battery/Charger Safety	1
38122	Label - Manual Storage Container	1
38149	Label - Patents	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	1
43089	Instructions - Operating Instructions, Ground	1
43658	Label - Power to Charger, 230V	1
44736	Danger - Tip-over Hazard, Tilt Alarm	1
44980	Label - Power to Charger, 115V	1
52475	Label - Transport Tie-down	3
52865	Warning - Annual Service Inspection	1
65052	Label - ECM Fault Codes	1
72086	Label - Lifting Eye	1
72159	Danger - Tip-over Hazard, Batteries	1
72171	Instructions - Max Side Force, 445 N, ANSI & CSA	1
72182	Instructions - Max Side Force, 200 N, AUS	1
72184	Cosmetic - Genie Runabout	1
72188	Label - Directional Arrows	2
72832	Danger - Do Not Alter Limit Switch	1
72970	Instructions - Battery Charger Operation	1
82366	Label - Chevron Rando	1
82863	Danger - Parcel Tray Capacity, 68 kg, GR-12, GR-15	1
82864	Danger - Max Capacity, 20 kg, Bike Racks	1
82975	Danger - Collision Hazard	1
97712	Instructions - Brake Release Safety and Operation	1
97772	Platform Control Panel	1
97810	Cosmetic - Genie GR-12	2
97811	Cosmetic - Genie GR-15	2
97812	Cosmetic - Genie GR-20	2
97813	Label - Wheel Load, GR-20	4
97815	Label - Lower Mid-rail	1
97829	Instructions - Max Capacity, 227 kg, GR-12, GR-15	1
97830	Instructions - Max Capacity, 159 kg, GR-20	1
97831	Instructions - Operating Instructions, Platform	1
97882	Label - Wheel Load, GR-12	4
97883	Label - Wheel Load, GR-15	4
97886	Label - Tire Specifications	4
109519	Danger - Max Capacity, Adjustable Work Tray, 68 kg	1
114325	Instructions - Battery Connection Diagram	1
114467	Cosmetic - Grey Stripe, Left Side	1
114468	Cosmetic - Grey Stripe, Right Side	1
114469	Ground Control Panel	1
133013	Danger - Electrocution Hazard	1
133014	Danger - General Safety Rules	1
133092	Danger - Crushing Hazard, Use Safety Chock	1
133144	Label - Transport Diagram	2
133199	Label - Emergency Lowering	1

点検


Shading indicates decal is hidden from view, i.e., under covers.
97831
44736
109519
72832
82864
97829 or 97830
28175
133013
82366
82975
31788
97712
28373
97886
97882 or 97883 or 97813
97810 or 97811 or 97812
97882 or 97883 or 97813
97886
72159
133092
52475
133144
114325
72171 or 72182
31071
82863
72188
97772
38122
28235 or 28174
40434
72184
72086
38149
Serial Label
28235 or 28174
114469
43089
52865
44980 or 43658
31508
114467
52475
114325
133199
52475
114468
65052
133014
72970
28373
97886
97886
97882 or 97883 or 97813
97810 or 97811 or 97812
97882 or 97883 or 97813

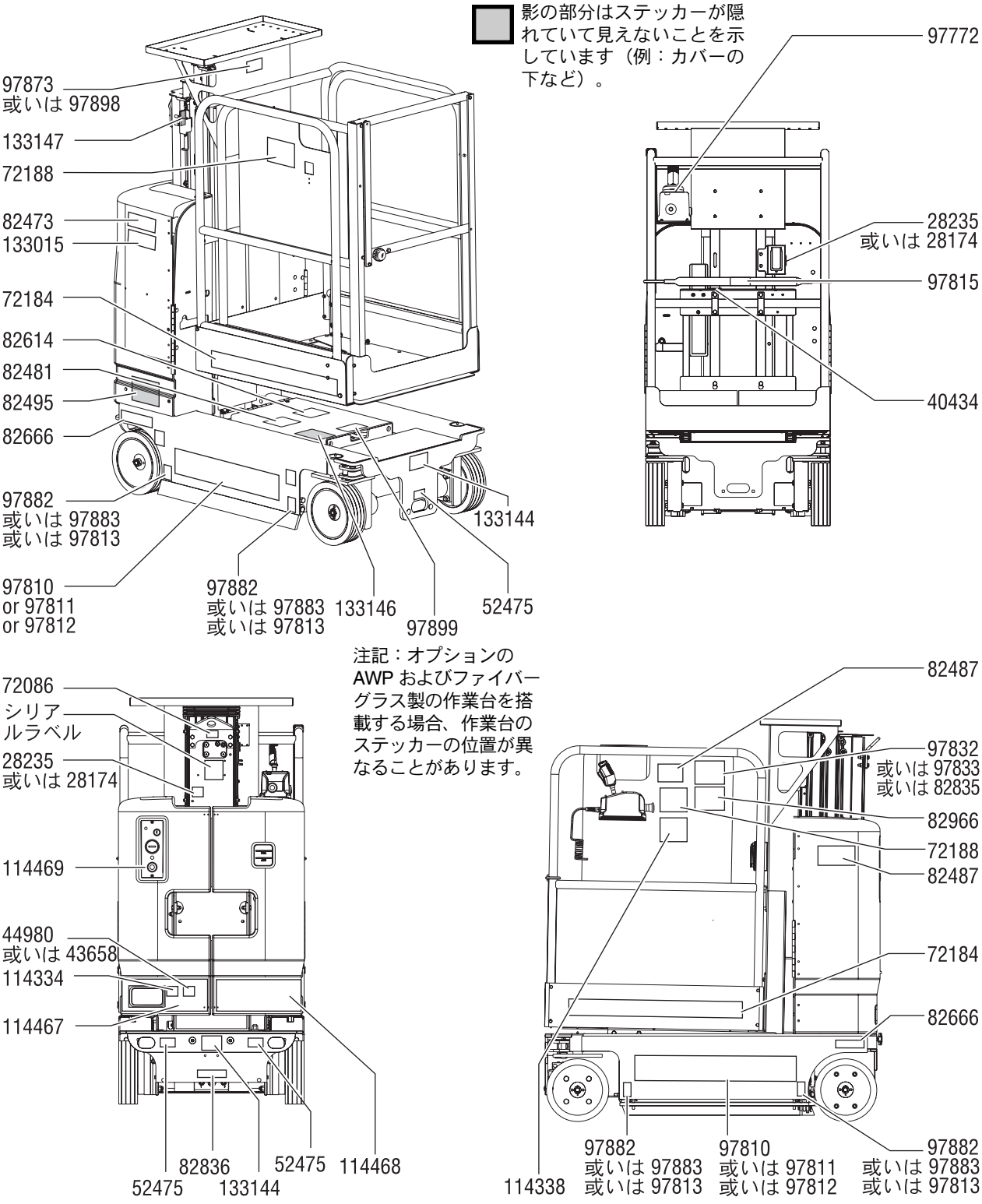
点検

標準および AWP 作業台の警告シンボル付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
28174	ラベル - 作業台への電力, 230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力, 115V	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	1
43658	ラベル - 充電器への電力, 230V	1
44980	ラベル - 充電器への電力, 115V	1
52475	ラベル - 輸送用の荷締め	3
72086	ラベル - 吊り金具	1
72184	外装 - Genie Runabout	2
72188	ラベル - 方向矢印	2
82473	ラベル - コンパートメントへのアクセス	1
82481	ラベル - バッテリーの安全	1
82487	ラベル - マニュアルを読む	2
82495	ラベル - ブレーキ解除の安全および操作	1
82614	ラベル - 衝突の危険	1
82666	ラベル - フォークリフト ポケット	2
82835	ラベル - 最大積載量 159 kg (AWP およびファイバーグラス製の作業台搭載モデル)	1
82836	ラベル - 緊急下降	1
82966	ラベル - 最大側方圧力, 445 N, ANSI	1
97772	作業台操作パネル	1
97810	外装 - Genie GR-12	2
97811	外装 - Genie GR-15	2
97812	外装 - Genie GR-20	2
97813	ラベル - 輪荷重, GR-20	4
97815	ラベル - 中間レール	6
97832	ラベル - 最大積載量 227 kg, GR-12, GR-15 (標準作業台搭載モデル)	1
97833	ラベル - 最大積載荷重量, 159 kg, GR-20 (標準作業台搭載モデル)	1
97873	ラベル - 最大積載荷重量, 作業ステーショントレイ, 22 kg, GR-12, GR-15	1
97882	ラベル - 輪荷重, GR-12	4
97883	ラベル - 輪荷重, GR-15	4
97898	ラベル - 最大積載荷重量, 荷物トレイ, 68 kg, GR-12, GR-15	1
97899	ラベル - 安全輪止め	1
114334	ラベル - 感電の危険, プラグ	1
114338	ラベル - 転倒の危険, 傾斜アラーム	1
114467	外装 - グレーストラップ, 左側	1
114468	外装 - グレーストラップ, 右側	1
114469	地上操作パネル	1
133015	ラベル - 感電の危険	1
133144	ラベル - 輸送図	2
133146	ラベル - 転倒の危険, バッテリー	1
133147	ラベル - 転倒の危険, リミット スイッチ	1

点検


影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。
97873
或いは 97898
133147
72188
82473
133015
72184
82614
82481
82495
82666
97882
或いは 97883
或いは 97813
97810
or 97811
or 97812
97882
或いは 97883
或いは 97813
133146
97899
52475
133144
97772
28235
或いは 28174
97815
40434
注記：オプションの AWP およびファイバーグラス製の作業台を搭載する場合、作業台のステッカーの位置が異なることがあります。
72086
シリアルラベル
28235
或いは 28174
114469
44980
或いは 43658
114334
114467
82836
52475
52475
133144
114468
82487
97832
或いは 97833
或いは 82835
82966
72188
82487
72184
82666
114338
97882
或いは 97883
或いは 97813
97810
或いは 97811
或いは 97812
97882
或いは 97883
或いは 97813

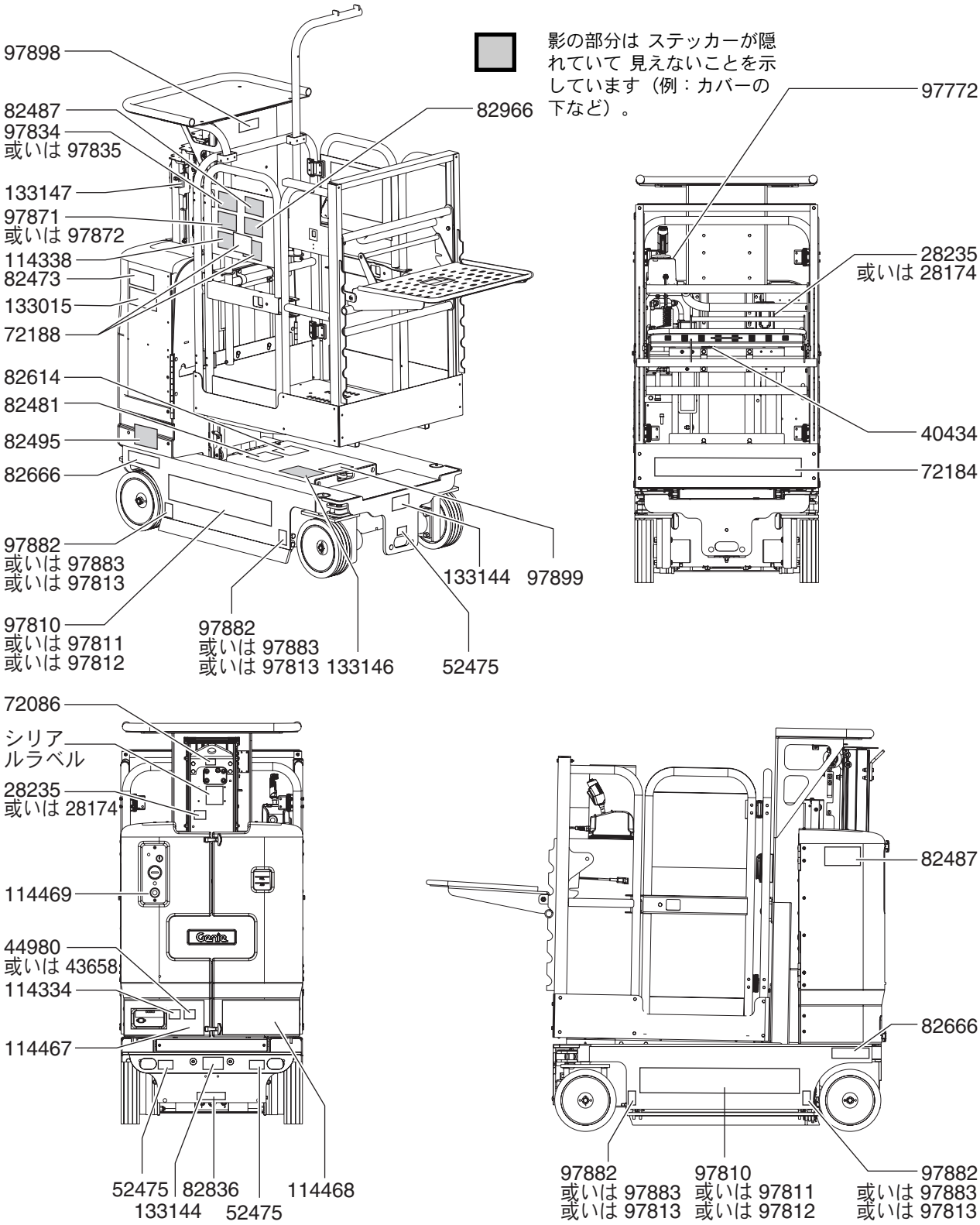
点検

ストックピッカー作業台の警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
28174	ラベル - 作業台への電力, 230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力, 115V	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	1
43658	ラベル - 充電器への電力, 230V	1
44980	ラベル - 充電器への電力, 115V	1
52475	ラベル - 輸送用の荷締め	3
72086	ラベル - 吊り金具	1
72184	外装 - Genie Runabout	1
72188	ラベル - 方向矢印	2
82473	ラベル - コンパートメントへのアクセス	1
82481	ラベル - バッテリーの安全	1
82487	ラベル - マニュアルを読む	2
82495	ラベル - ブレーキ解除の安全および操作	1
82614	ラベル - 衝突の危険	1
82666	ラベル - フォークリフト ポケット	2
82836	ラベル - 緊急下降	1
82966	ラベル - 最大側方圧力, 445 N, ANSI	1
97772	作業台操作パネル	1
97810	外装 - Genie GR-12	2
97811	外装 - Genie GR-15	2
97812	外装 - Genie GR-20	2
97813	ラベル - 輪荷重, GR-20	4
97834	ラベル - 最大積載量 227 kg, GR-12, GR-15	1
97835	ラベル - 最大積載荷重量, 159 kg, GR-20	1
97871	ラベル - 最大積載荷重量, バイクラック, 20 kg, GR-12, GR-15	1
97872	ラベル - 最大積載荷重量, バイクラック, 20 kg, GR-20	1
97882	ラベル - 輪荷重, GR-12	4
97883	ラベル - 輪荷重, GR-15	4
97898	ラベル - 最大積載荷重量, 荷物トレイ, 68 kg, GR-12, GR-15	1
97899	ラベル - 安全輪止め	1
114334	ラベル - 感電の危険, プラグ	1
114338	ラベル - 転倒の危険, 傾斜アラーム	1
114467	外装 - グレーストラップ, 左側	1
114468	外装 - グレーストラップ, 右側	1
114469	地上操作パネル	1
133015	ラベル - 感電の危険	1
133144	ラベル - 輸送図	2
133146	ラベル - 転倒の危険, バッテリー	1
133147	ラベル - 転倒の危険, リミット スイッチ	1

点検


影の部分は ステッカーが隠れていて 見えないことを示しています（例：カバーの下など）。
97898
82487
97834
或いは 97835
133147
97871
或いは 97872
114338
82473
133015
72188
82614
82481
82495
82666
97882
或いは 97883
或いは 97813
97810
或いは 97811
或いは 97812
97882
或いは 97883
或いは 97813
133146
52475
133144
97899
82966
97772
28235
或いは 28174
40434
72184
72086
シリアルラベル
28235
或いは 28174
114469
44980
或いは 43658
114334
114467
52475
133144
82836
52475
114468
82487
82666
97882
或いは 97883
或いは 97813
97810
或いは 97811
或いは 97812
97882
或いは 97883
或いは 97813

操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。オペレータは、安全規則と、オペレータ、安全、および責任に関するマニュアルの手順にすべて従わなければなりません。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け、認定された担当者のみ機械を操作することが許可されています。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則と、オペレータ、安全、および責任に関するマニュアルの手順にすべて従わなければなりません。すなわちオペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

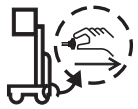
操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押して オフ にし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

緊急下降



1 緊急下降ノブを引きます。

地上からの操作

1 キー スイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて オン) にします。

3 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける

1 操作パネルのマークに従って、トグル スイッチを上下に動かします。

走行と操舵の機能は地上操作から操作できません。

作業台からの操作

1 キー スイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて オン にします。

3 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける



1 リフト機能選択ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 コントロール ハンドルを操作パネルのマークにしたがって動かします。

操舵



1 走行機能選択ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるロッカー スイッチで回します。

走行

1 走行機能選択ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 速度を上げる：コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げる：コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止する：コントロールハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを放します。

作業台操作と作業台の色別された方向矢印を使って、機械の進む方向を確認してください。

操作手順

作業台が上がった状態では走行スピードが制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。バッテリーレベル表示ランプが点滅している時、機械の走行速度および機能速度は低下します。

走行速度の減速：

走行コントロールでは、2つの異なる走行速度モードで操作することができます。走行速度ボタンのランプが点灯している場合は、走行速度モードが低速になっています。走行速度ボタンのランプが消えている場合は、走行速度モードが高速になっています。

走行速度ボタンを押して、任意の走行速度を選択します。

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、収納状態	30% (17°)



最大定格横傾斜勾配, 収納状態	30% (17°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

走行速度ボタンを押して、走行速度モードを高速にします。

傾斜勾配の確認：

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なもの：

水準器

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

下り坂の下がった方の端で、木片の端に合わせてその上に水準器を置いた後、木片が水平になるまで木片を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ(水平距離)で割り、その数値に 100 を掛けます。

例：



水平距離 = 3.6 m

高さ = 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3%

傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面で上下に輸送する必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

エラー表示計測値



LED 診断計測値がLL などのエラーコードを表示している場合は、赤色非常停止ボタンを押し、その後ボタンを引いてシステムをリセットしてください。

ECM 故障コード

コード	状態
--	正常な状態
01	内部 ECM エラー
02	ECM/作業台通信エラー
03	作業台 DIP スイッチの設定が定義されていない
12	シャーシの上/下スイッチが機械始動時に閉じている
18	ポットホールガードの故障
42	作業台左回転スイッチの故障
43	作業台右回転スイッチの故障
46	作業台走行機能スイッチの故障
47	作業台ジョイスティックの故障
52	前進コイルの故障
53	逆進コイルの故障
54	上昇コイルの故障
55	下降コイルの故障
56	右コイルの故障
57	左コイルの故障
58	ブレーキコイルの故障
59	パラレル/シリアル コイルの故障
68	低電圧
LL	水平でない
OL	過負荷カットアウト オプション

詳しい情報については該当する Genie サービスマニュアルをご覧ください。

作業台の延長と収納（搭載する場合）

1 作業台延長解除ペダルを踏んでください。

2 作業台手すりを持って慎重に押し、作業台を延長します。

3 作業台延長解除ペダルを踏んで手すりを引き、作業台を収納します。

コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定された物体の間に安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

バッテリー レベル表示器



LED 診断計測値を使用して、バッテリー レベルを確認します。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

- ☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。

2 バッテリーのコンパートメントを開きます。充電中はコンパートメントを開いたままにします。

3 カバーをシャーシに立てかけます。

4 マストがバッテリーカバーに接触するまで作業台を下げてください。

⚠ 手のケガの危険 作業台が降下しているときは、バッテリーカバーに手を近づけないでください。

5 キースイッチを回して オフ にします。

6 バッテリー ケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

メンテナンス不要のバッテリー

7 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

8 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

標準バッテリー

7 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

8 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

9 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

10 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

11 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液が溢れることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

- ☑ Genie Industries は、固定に関して以下を推奨します。操縦者は、米国運輸省の規定、その他の地域の規定および自社の方針に従って機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。
- ☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、国際輸送用に建設用機器およびリフトを準備、積載、固定する専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。
- ☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。
- ☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ブレーキ解除操作

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。



2 シャーシの荷締め個所にウィンチ ラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

3 黒色のブレーキ解除ノブを押してブレーキ弁を開きます。



4 赤いブレーキ解除ポンプ ノブを押します。

機械を載せた後：

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 地上操作および作業台操作の赤色非常停止ボタンを引いて オン にします。

3 走行機能選択ボタンを押します。コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを中央から動かし、すぐに離して、ブレーキをリセットします。

4 地上操作と作業台操作の赤色非常停止ボタンを押して オフ にします。

Genie GS-12、GS-15、GR-20 の牽引は推奨しません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。

輸送およびリフトの手順

⚠ 輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

機械を輸送する際は、必ず延長デッキ ロックを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

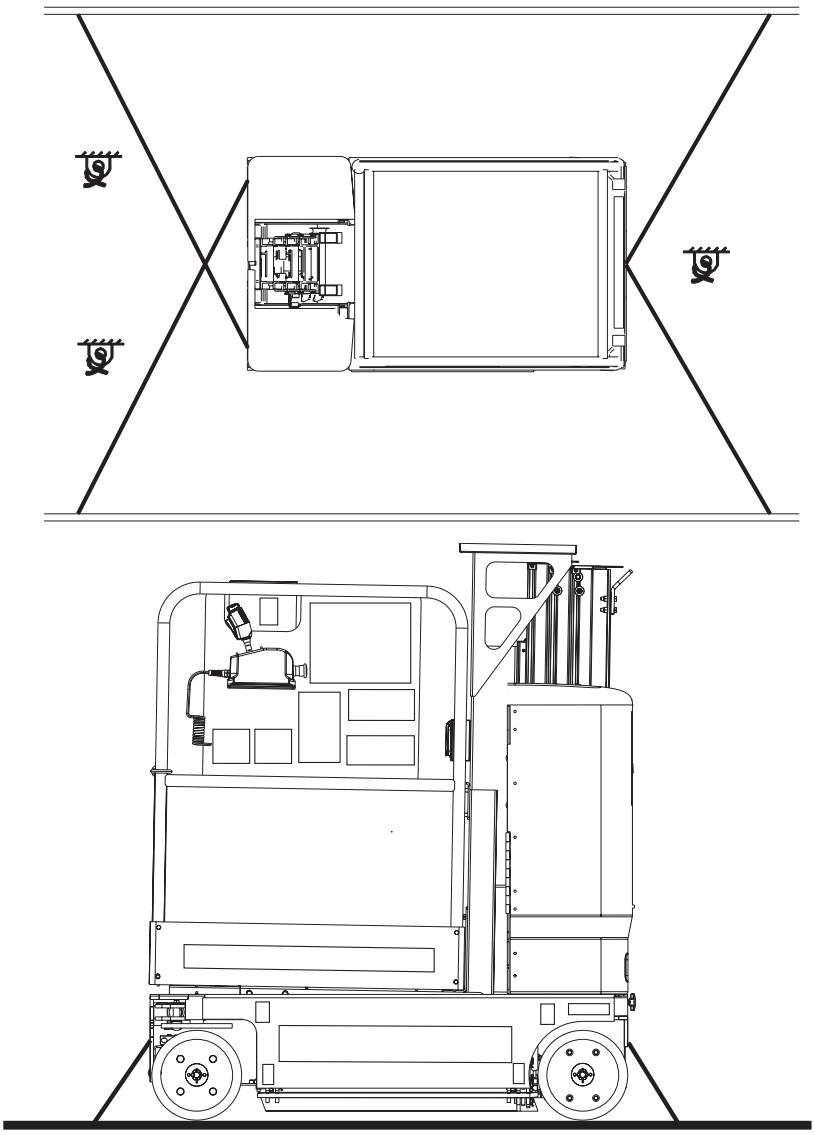
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

シャーシの荷締め箇所を使って輸送車両へ固定してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 4 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、リギングを調節してください。



輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

- ☑ リギングおよびリフトを行うときは、必ず認定されているリガーを使用してください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

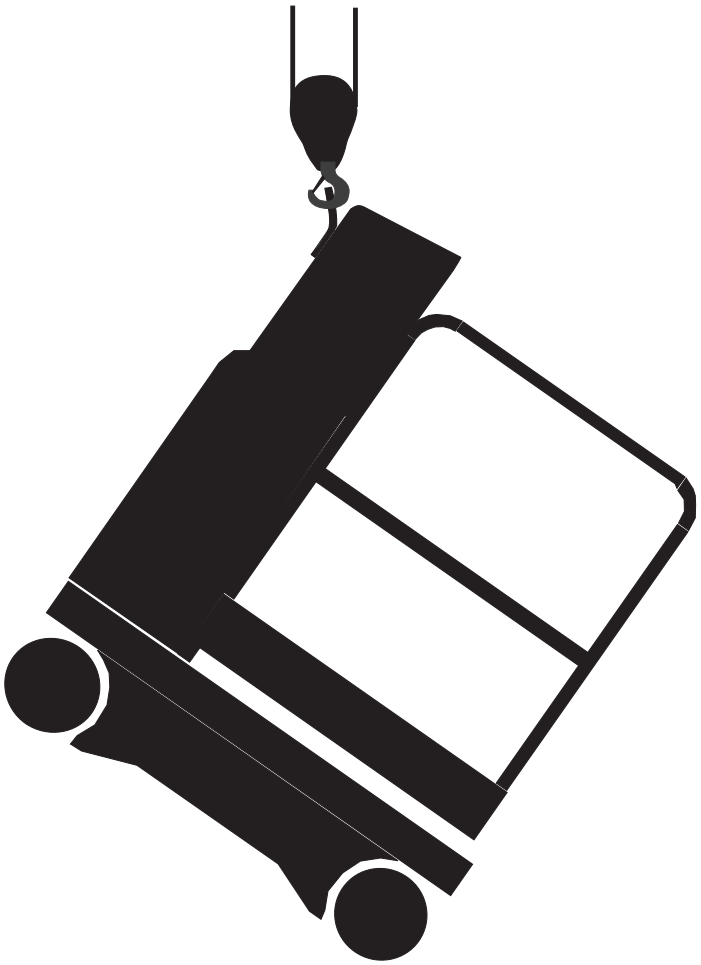
⚠ クレーンによる機械の積載

マスト柱の後ろに取り付けられたリフト用金具を使用します。

マストが完全に下がっていることを確認します。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

リフト用フックは、必ず機械と逆に向くようにリフト用金具に通してください。



メンテナンス



必ず従うこと：

- ☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。
- ☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量の変化によって油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

注記：作業台が収納した状態でこの作業を行ってください。

1 油圧タンクのオイル量を目視点検します。

⊙ 結果：オイル量は、タンクのマークと同じである必要があります。

2 必要に応じてオイルを追加します。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD に相当

メンテナンス

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

注記：密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順は必要ありません。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの貴金属をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記：このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリー ケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定バーが適切に配置されていることを確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンス トレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービス マニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

GR-12	
高さ、操作時最高	5.3 m
高さ、作業台最大	3.5 m
高さ、収納時最高	1.57 m
高さ、収納時最高 作業ステーショントレイ搭載の標準作業台	1.62 m
高さ、収納時最高 作業ステーショントレイ搭載のストックピッカー作業台	1.62 m
高さ、収納時最高 バイクラック搭載のストックピッカー作業台	1.60 m
幅	74.9 cm
奥行き、作業台収納時	1.35 m
標準作業台を含む長さ オプションの作業台延長の延長時	1.85 m
ストックピッカー作業台を含む長さ 調節可能トレイを含む	1.87 m
ストックピッカー作業台を含む長さ 調節可能トレイおよび作業ステーショントレイを含む	1.91 m
最大積載荷重量, 標準作業台	227 kg
最大積載荷重量, AWP およびファイバーグラス製作業台	159 kg
最大積載荷重量, ストックピッカー作業台	227 kg
最大風速	秒速 12.5 m
旋回半径 (内側)	0 cm
旋回半径 (外側)	132.1 cm
最低地上高	6.5 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアル プレートをご覧ください。)	717 kg

電源	バッテリー x 4、6V 225AH
制御	比例
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	207 バール
タイヤ サイズ	25.4 x 7.6 x 2.5 cm
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A 特性騒音レベル)	<70 dB
振動値は 2.5 m/s² を超過しません。	
最大定格勾配、 作業台収納時	30% (17°)
最大定格横勾配	30% (17°)
注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	
走行速度	
収納時, 最大	時速 4.0 km 12.2 m/10.9 秒
作業台伸長時, 最大	時速 0.8 km 12.2 m/55 秒
床荷重表	
最大輪荷重	464 kg
タイヤ接地圧	11.07 kg/cm² 1085.13 kPa
車体使用面積当りの圧力	936 kg/m² 9.18 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。 安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

GR-15	
高さ、操作時最高	6.3 m
高さ、作業台最大	4.5 m
高さ、収納時最高	1.57 m
高さ、収納時最高 作業ステーショントレイ搭載の標準作業台	1.62 m
高さ、収納時最高 作業ステーショントレイ搭載のストックピッカー作業台	1.62 m
高さ、収納時最高 バイクラック搭載のストックピッカー作業台	1.60 m
幅	74.9 cm
奥行き、作業台収納時	1.35 m
標準作業台を含む長さ オプションの作業台延長の延長時	1.85 m
ストックピッカー作業台を含む長さ 調節可能トレイを含む	1.87 m
ストックピッカー作業台を含む長さ 調節可能トレイおよび作業ステーショントレイを含む	1.91 m
最大積載荷重量, 標準作業台	227 kg
最大積載荷重量, AWP およびファイバーグラス製作業台	159 kg
最大積載荷重量, ストックピッカー作業台	227 kg
最大風速	秒速 12.5 m
旋回半径 (内側)	0 cm
旋回半径 (外側)	132.1 cm
最低地上高	6.5 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアル プレートをご覧ください。)	994 kg

電源	バッテリー x 4、6V 225AH
制御	比例
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	207 バール
タイヤ サイズ	25.4 x 7.6 x 2.5 cm
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A 特性騒音レベル)	<70 dB
振動値は 2.5 m/s² を超過しません。	
最大定格勾配、 作業台収納時	30% (17°)
最大定格横勾配	30% (17°)
注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	
走行速度	
収納時, 最大	時速 4.0 km 12.2 m/10.9 秒
作業台伸長時, 最大	時速 0.8 km 12.2 m/55 秒
床荷重表	
最大輪荷重	606 kg
タイヤ接地圧	14.4 kg/cm² 1418 kPa
車体使用面積当りの圧力	1210 kg/m² 11.87 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。 安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

GR-20	
高さ、操作時最高	7.90 m
高さ、作業台最大	6.07 m
高さ、収納時最高	1.98 m
高さ、収納時最高 バイクラック搭載のストックピッカー作業台	1.60 m
幅	80 cm
奥行き、作業台収納時	1.35 m
標準作業台を含む長さ オプションの作業台延長の延長時	1.86 m
ストックピッカー作業台を含む長さ 調節可能トレイを含む	1.87 m
最大積載荷重量, 標準作業台	159 kg
最大積載荷重量, AWP およびファイバーグラス製作業台	159 kg
最大積載荷重量, ストックピッカー作業台	159 kg
最大風速	秒速 12.5 m
旋回半径 (内側)	0 cm
旋回半径 (外側)	134.6 cm
最低地上高	6.5 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアル プレートをご覧ください。)	1112 kg
電源	バッテリー x 4、6V 225AH
制御	比例
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	207 バール
タイヤ サイズ	25.4 x 7.6 x 2.5 cm
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A 特性騒音レベル)	<70 dB
振動値は 2.5 m/s^2 を超過しません。	
最大定格勾配、 作業台収納時	30% (17°)
最大定格横勾配	30% (17°)
注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	
走行速度	
収納時, 最大	時速 4.0 km 12.2 m/10.9 秒
作業台伸長時, 最大	時速 0.8 km 12.2 m/55 秒
床荷重表	
最大輪荷重	553 kg
タイヤ接地圧	13 kg/cm^2 1293.03 kPa
車体使用面積当りの圧力	1180 kg/m^2 11.57 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

作業台寸法, すべてのモデル (奥行きx幅)	
標準作業台	88.9 x 74.9 cm
標準作業台 延長部を含む	139.7 m x 74.9 cm
ストックピッカー作業台	88.9 x 74.9 cm
ストックピッカー作業台 調節可能トレイを含む	142.2 m x 74.9 cm
標準 AWP 作業台	69 x 51 cm
狭幅 AWP 作業台	66 x 51 cm
標準ファイバーグラス製 作業台	74 x 67 cm
狭幅ファイバーグラス 作業台	66 x 56 cm

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイアル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 566

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241

代理店: